

ALACT モデルを 活かした授業の検討会の探究

コルトハーヘン(F. Korthagen)氏が提案するALACTモデルを活かした模擬授業の検討会(対話型模擬授業検討会)とは、模擬授業に生徒役で参加した院生が、生徒の立場で検討会にも参加することで、生徒と教師の認識とのズレ等を見出し、省察を深める取り組みの事です。この検討会を開発した東京学芸大学、そこから学び独自の展開をする兵庫教育大学での取り組みを発表します。その上で、両大学の取り組みにオランダの教師教育機関の専門家から助言をもらいます。

日時 2021年3月4日(木) 17:00~19:00

プログラム

*プログラムには全て日本語とオランダ語による逐次通訳がつきます

1. プロジェクト概要 奥村好美(兵庫教育大学)
2. 東京学芸大学教職大学院における対話型模擬授業検討会の展開 渡辺貴裕、他院生(東京学芸大学)
3. 兵庫教育大学教職大学院における対話型模擬授業検討会の展開 奥村好美、他院生(兵庫教育大学)
4. 両大学での取り組みに対するオランダの授業研究の専門家からのコメント Henk Logtenberg (Marnix Academie)
5. 質疑応答

会場 オンライン(ZOOM ウェビナー)

申込方法

下記 URL もしくは QR コードから事前にお申し込みください。お申し込みいただいた方に、後日 E-mail にて参加 URL をご連絡いたします。(申込期日 2021年2月28日まで)

<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=8xr6Sc5uKkqdsLQM3Zpb00mM2S99JRlOp-3C7WmadnJUOFBINE+FVTTYxNldEODlXMVo5MFZNSU5aRy4u>



定員 500名

*19:30から1時間程度日本語のみでディスカッションを行う場(オープンカフェ)を設けます。教師教育や授業研究に興味のある方はどなたでも、遠慮なく奮ってご参加ください。

*本会は、兵庫教育大学「理論と実践の融合」に関する共同研究(研究代表者:奥村好美、研究課題名「Society5.0時代における教師の力量形成に資する授業科目群の開発」)の最終成果発表会として開催します。研究メンバーは、兵庫教育大学の伊藤博之、別惣淳二、松本伸示、溝邊和成、宮田佳緒里、(山中一英)、東京学芸大学の渡辺貴裕、Marnix AcademieのHenk Logtenberg他です。

*問合せ先 兵庫教育大学 宮田(kmiyata@hyogo-u.ac.jp)